

三重病院と災害対策

1ページ

こんなことしてます三重病院ふれあい祭りレポート/福祉情報・平成24年4月からの重症心身障がい児(者)福祉はどうなるの?~その1~

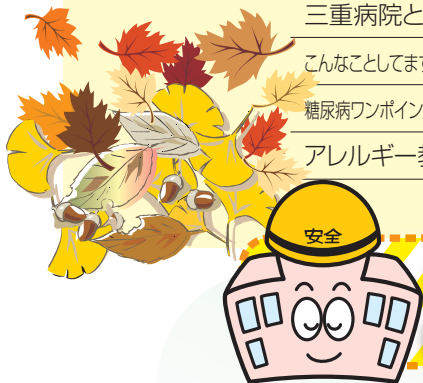
2ページ

糖尿病フンポイントアドバイス「3B体操ってなあに?」/「糖尿病教室11月」のお知らせ/医療福祉相談室だより「今月のイチオシ図書」

3ページ

アレルギー教室のクッキング/外来からのお知らせ/外来診察のご案内

4ページ



## 三重病院と災害対策

院長室  
だより

平成23年3月11日(金)は何の日でしょう?

そうです、東日本大震災が起こった日です。私は東京の目黒で会議の始まりを待っていた時に地震の揺れを体験しました。その時の印象は、「いつまでたってもゆっくりとした揺れがおさまらないなあ」でした。地震のために会議は中止となりましたが、JRや地下鉄は運転を中止しており、目黒から品川まで1時間半歩いて移動し、品川駅で泊まる場所を探しながら時間をつぶしていました。幸いにも、午後8時30分に東海道新幹線が運転再開し、その日のうちに津まで帰ってこられました。その時わかったことは、「東海道新幹線と地下鉄は地震に強い」でした。



さて、**当院も2組東日本大震災に医療班を派遣しました。**本当にご苦労さまでした。特に1班の皆様は、電気が十分に届かない寒い中、また情報も不十分な中行って頂きました。2班とも小児科医を中心としたグループ派遣でしたが、**子どもの診察ができる貴重な戦力として、また中堅を派遣した結果か、派遣先でグループの指揮をとれる貴重な戦力として活躍してくれました。**ありがとうございました。



東日本大震災が落ち着いてくると、国立病院機構各施設とも震災に備えて施設の見直しを行っています。当院の外来管理棟と7病棟は既に耐震基準を満たしていますが、他の病棟は満たしていませんでした。しかし、今年12月には耐震基準を満たした新病棟が完成し、平成24年1月から運用を開始し

ます。また、当院は里山の上にありますので、津波に対しても安心でしょう。

当院の配電ルートは、以前は亀山からのルート一本でしたが、新病棟建設に当たり、当院の立地上の利点を生かし、災害対策として新病棟には亀山からのルートと安濃からのルートの2本を引くよう設計しました。自家発電を持っていますが急な停電に備えた対策です。また、当院は東海・東南海地震に備え、既に4年前に深井戸を掘り飲料水を確保しています。その飲料水は病院のためだけではなく、震災時に地域の人たちにも提供する約束を津市と結んでいます。



先日、堺市のO175事件、池田市の小学生殺害事件に遭遇した子どもや職員の心的外傷後ストレス障害(PTSD)を治療された榊原病院・前院長の長尾先生の講演をお聴きしました。その中で、災害現場に行った人もPTSDになること、PTSDに強い人は日頃からメンタルに安定した人であると話されました。日頃からのメンタルヘルスが災害時のメンタルヘルスにも役立つようです。



震災対策としてハード面が強調されますがソフト面も大切です。いつ震災が起こるか分かりません。しかし、**日頃からのメンタルヘルス、ストレス発散が災害対策の一つのようです。**

(院長 庵原 俊昭)

